

基本情報



【年 齢】
35歳
【出身地】
神奈川県座間市
【転出元】
神奈川県座間市
【前 職】
(株)キズキ／筑波大学
【活動時期】
R4.4～

協力隊に応募したきっかけ

私は観光学を専門とする研究職の立場から、農山漁村の地域創生事業に携わってきました。現場経験を重ねるなかで、ひとつの地域に腰を据え、直接的な担い手として地域づくりに挑戦することを目指すようになり、一発奮起して移住を決意しました。北海道広尾町は所謂物見遊山型の観光地ではありません。だからこそ、まだ見ぬ地域資源の発掘や観光的魅力の創出、ストーリー性の付加が不可欠になります。克服すべき課題は山積みですが、ポテンシャルに満ち溢れた広尾町での挑戦は毎日が刺激的で高揚感を覚えます。

今後の抱負・任期後の目標

「**選ばれ続ける広尾町**」を実現すべく、広尾町の強みを反映した体験型観光プログラムの開発・運営に努めていきます。今年度は多様なプログラムを考案し、手応えを掴むとともに、広尾町らしさの追求や活動内容の外部発信、連携可能性の模索、市場分析など、**活動の土台作り**に徹しました。次年度はプログラムの実装化に向けて、観光人材の発掘育成やフィールド開拓、観光教育の強化にも注力します。任期後は十勝観光の中核を担うべく、関係人口を創出する**拠点整備**や**観光地経営**に関する事業展開を目指しています。

活動内容

●一次産業を軸とする体験型観光の推進

広尾町は一次産業が満遍なく展開しています。今年度は放牧見学や昆布干し体験といったオーソドックスな体験観光プログラムを充実させました。今後は一次産業の連動性を体感したり、**国際友好都市をもつノルウェーの要素を加味したプログラム**を考案したりと、更なるオリジナリティの追求に努めます。



放牧見学ツアー

●地元高校生との体験型観光プログラムの共創

総合的な探求の時間を活用した**観光教育**に取り組んでいます。今年度は「**十勝の海・漁業**」を題材に、高校生が発案する体験観光プログラムを共創しました。その過程で、生産現場でのフィールドワークや漁師を交えたワークショップを実施しました。その様子は各種メディアにて紹介されています。



地元高校生の室内昆布干し体験

●視察研修旅行の受入環境の整備

広尾町では視察研修旅行の受入環境を整えています。今年度は**学生インターン**（北海道大学、東京海洋大学ほか）を積極的に受け入れ、視察研修旅行の更なる推進に向けたモニターツアーに参加してもらいました。また、北海道知事（なのみちカフェ）や学生団体などに対する各種アテンドにも従事しました。



北海道知事の来訪対応

連絡先

【メディア等の取材連絡先】

（電話番号）01558-2-0117（広尾町水産商工観光課）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

（地域おこし協力隊Instagram（QRコード(左)））

（ピロロツーリズム推進協議会website（QRコード(右)））

